

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事後評価結果

大 学 名	共愛学園前橋国際大学		
申請区分	タイプB：特色型	整理番号	B 1 7

◇経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント) <p style="margin-top: 10px;">「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」の育成を目的に、大学の戦略的な目標等を位置付け、グローバル化への推進体制整備に向けて着実な取組が成されている。特に、Global Career Training 副専攻の設立とカリキュラムやシラバスの充実を図りながら、多言語化、ナンバリングの導入、GPA、キャップ制、KYOAI COMMONS を活用したアクティブ・ラーニング環境の整備とその効果測定を進めるなど、全学的な組織作りについては群を抜いていると言える。</p> <p>入学当初は必ずしもリーダーとしての自信を持ち合わせていない多くの学生に対して、大学独自の指標である「グローバルポイント」を設定し、様々なプログラムを用意しながら、学生の成就感を高め、徐々にその背中を押して留学への動機を高めていくなど、学生個々の成長を可視化することにより、その学修成果を大学と学生が共に確認しながら一歩ずつ前に進んでいる指導法は特筆に値する。</p> <p>県内を中心に入学してきた学生に対して、地元の企業や行政と連携しながら、グローバルリーダーとしての資質（語学力、社会人基礎力、異文化理解・地域人のアイデンティティ）を育み、しっかりとした力を付けて、また県内の企業、公共団体、学校等に送り出し、卒業生がそれぞれの場で活躍するなど、地域に根差した循環型の成功モデルを構築し、具現化している点も高く評価出来る。</p> <p>一方で、外国語力スタンダードをはじめとする数値目標については、多くの項目について目標を達成していない。今後、指標等の見直しとともに、効果を挙げつつある様々な取組を粘り強く継続することにより、その成果が実を結ぶことが望まれる。</p> <p>今後の展開については、本事業での取組を全て大学予算で継続させることとなっており、細かな施策も戦略的に構築され、いわゆる小規模大学の一つの成功モデルとして他大学に公開すれば、我が国の高等教育の国際化に大きく貢献するのではなかろうか。本取組の更なる継続と今後の展開に期待したい。</p>	